

よりよいこれからの生き方をお考えの方に。

ゆかり通信

YUKARI TSUSHIN

初春号 Vol.92

2017年1月15日

この冊子はエデンの園ゆかり会
会員の方に年4回お届けしています。

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 高齢者公益事業部 **エデンの園**「ゆかり会」情報誌



特集 藤沢エデンの園

プロフェッショナル〈私の仕事を紹介します〉

interview 石塚 恵司

きらめきトピックス

～聖隷藤沢ウェルフェアタウン 紹介～

●ご入居までの流れ



待機登録とは

ご希望の居室タイプが満室の場合や将来的(2～3年)にご入居を計画されている場合に空室が発生した時点で優先してご案内する制度です。(登録は無料です)。また、新規計画や増築計画等の情報も優先的にお知らせします。ご入居をお考えの方は是非、ご登録をおすすめします。

浜名湖エデンの園 ☎0120-60-1055



H22.10撮影

近隣に総合病院聖隷三方原病院、聖隷予防検診センター、ホスピス、教会、大学などが建ち並ぶこの地は、医療・福祉・文教機関が集中した浜松市北部の総合医療福祉ゾーンとして名高く、真摯なサービスが提供されています。

松山エデンの園 ☎0120-459-165



H20.7撮影

穏やかで開放的な瀬戸内の海に面し、一年を通じて温暖な気候に恵まれている松山。正岡子規の故郷であり、夏目漱石の坊っちゃんでも名高いこの街は、古くから行政・教育・文化の中心として栄えてきました。

浦安エデンの園 ☎0120-766-165



H25.7撮影

東京ベイエリアを代表する新都市として発展しつづける浦安市に、エデンの園が誕生。都心と近接している住環境は、あたらしい世代の方々が満足する充実した自立生活を送れるオアシスとなり、汐風が香る明るい街に豊かな老後が感じられます。

藤沢エデンの園 ☎0800-888-2238



H23.3撮影

藤沢市の西部に位置する湘南大庭地区は緑あふれる空間と毎日の生活のための利便性が共存しています。周囲にはいくつもの公園が広がり、巡りゆく四季を感じながら、豊かな生活を送ることが出来る恵まれた住環境といえます。

宝塚エデンの園 ☎0120-87-1165



H24.9撮影

大阪・神戸にほど近い、宝塚の閑静な住宅街。ここは文化の息吹を感じ、四季彩りの景観や鳥たちの優しい囁きに心遊ばせる珠玉の地。宝塚エデンの園は、身体のリズムが自然に呼応するこの地で、歳月に磨かれ、周辺でも指折りの歴史を刻んでいます。

油壺エデンの園 ☎0120-37-4165



H24.10撮影

波間に映える夕陽、潮の香りと四季折々の風雅を今にとどめる富士の佇まい。ここ「油壺エデンの園」は、眼前に広がる景観と眺望のように、未来への展望が明るくひらけ、生きがいを育み、生活に彩りを添える住まいです。

横浜エデンの園 ☎0800-111-1165



H24.10撮影

都会の喧騒から離れた保土ヶ谷で、聖隷横浜病院の隣接地に建つ横浜エデンの園。基本理念に「ひとりひとりの笑顔のために」を掲げ、病院や福祉施設、在宅事業で培ったノウハウを集結し、お一人おひとりに合ったケアを提供できるよう努めます。最新のその時まで安らげる環境を。

ゆかり通信 [第92号]

2017年1月15日発行

企画・編集 / 社会福祉法人 聖隷福祉事業団

高齢者公益事業部 入居者募集センター

〒430-0946 静岡県浜松市中区元城町218-26 聖隷ビル8階

TEL.053-413-3294(代) ☎0800-888-1765 (いひはらうこ)

発行人 / 吉田 まなぶ

本紙に掲載されている写真は全てご本人のご了承をいただいております。



チャレンジステップの指導をする石塚。

クリスマスの飾り付け、ガーデニングコンサート、節分の豆まき等のイベントを開催しています。



[PROFILE]
 藤沢エデンの園 生活サービス課
石塚 恵司 (いづか けいじ)
 京都府出身 31歳 日本体育大学 体育学部健康学科卒業 2007年聖隷福祉事業団に入職。油壺エデンの園 居室サービス課に6年、ケアサービス課に3年半勤務。2016年10月、藤沢エデンの園に異動。現在に至る。妻と1歳8ヶ月の長男と3人暮らし。
 <資格>介護支援専門員、社会福祉士、介護福祉士、健康運動実践指導者、中高老年期運動指導士、スクエアステップ指導員

人生をもっと長く楽しむために、「運動指導」でサポートします。

「イチ、ニツ、サン、シツ、ゴー、ロク！」
 「はい、オッケー」「○○さん、ハイタッチ！」…藤沢エデンの園のかわせみホールで、ご入居者の元気な足音と明るい声が響きます。
 「藤沢エデンの園では、健康増進の取り組みのひとつとして、今年から『チャレンジステップ』という運動を始めました」と話すのは、指導員を務める生活サービス課の石塚恵司。
 「現在、30名のご入居者が参加されています。年齢は60代後半〜80代までと幅広いですが、まだ5回目ですが、個人的なケガと体調不良の方以外、脱落者はいません。皆さん、この時間を本当に楽しんで続けていらつやいます」。

「高齢者向けの運動はたくさんあります。でも、科学的エビデンス(根拠)に基づいたものは意外に少ないんです。このプログラムは、実際に身体機能の向上や転倒予防効果、認知機能向上がデータで実証されていますし、『誰でも、どこでも、楽しくできる』という手軽さに加え、レベルに応じてステップの種類が200以上あるなど、飽きずに長く続けられる要素が詰まっています」。

プログラムは、準備運動から筋力トレーニングを含め約1時間半。その間、ご入居者同士がグループに分かれて、声を掛け合い、教え合うことで、徐々にグループの連帯感も生まれてくるといいます。
 「最初は、なかなか歩きづらかった方も、回を重ねるごとに、しっかり歩けるようになってきました。また、ご入居者同士のコミュニケーションもスムーズになつてきたようで、普段の生活でも、笑顔や会話が増えてきたように感じますね」。

「チャレンジステップ」とは、スポーツ医学や健康体力学、老年体力学を専門とする大学法人が連携し開発した運動プログラムです。高齢者の健康増進をはじめ、成人の生活習慣病予防、子どもの身体機能の発達まで、あらゆる年齢層の体力づくり・仲間づくりに幅広く活用され、世界でも注目されています。「これこそ、高齢者の健康寿命の延伸のために最適なプログラムだ」と感じたといます。

「健康寿命の延伸」を目指して
 もともと介護士になるつもりで、大学の高齢者福祉を専攻していた石塚。運動指導を目指すようになったのは、ある

理由がありました。
 「油壺エデンの園に勤務していた頃でした。私が運動指導を担当したご入居者がガンで闘病の末、亡くなったのです。入院中、朦朧とする意識の中でも、私の名前を呼んでくださるほど信頼していただいていた方でした。お元気だった方が弱っていき姿を思い出すとお元気がないか、もつとできることがあつたのではないかと自分を責めるようになったといいます。「せつかくエデンの園に入られたのに、第三、第四の人生を謳歌することなく、すぐに寝たきりなつてしまつては悲し過ぎる…」自分にはできないことはないかと考えた末、体育学部出身の経験と知識を活かし、健康寿命の延伸のための運動指導を、自分自身の仕事のテーマにしたいとします。
 現場で心掛けていることを聞いてみました。
 「何をやる時も、まずご入居者の立場になつて考えるようにしています。これは、ご入居者にとつてどうなのか、本当に喜んでいただけるのか…。自分が良かれと思つても、ご入居者が望んでいなければ意味がないですからね」。石塚のそんな姿勢は、ご入居者はもちろん、介護のプロである同僚からも「両親の介護の時は、是非、あなたに頼みたい」といわれるほど信頼されています。
 最後に、藤沢エデンの園に入居をご検



討中の方へのメッセージを。
 「温暖な気候の藤沢には、湘南や鎌倉などの名所や観光地がたくさんあります。何より、藤沢エデンの園のある大庭地区は、若い方からお子さん、お年寄りまであらゆる年代の人々が世代を超えて交流する機会も多く、安心して暮らせる温かな雰囲気を感じます。
 湘南や鎌倉観光にお越しの際は、藤沢エデンの園にお立ち寄りください。周辺環境や施設、園の雰囲気や食事を、是非、体感していただきたいと思つています。そして、ご縁があれば、私と一緒に『チャレンジステップ』で健康寿命の延伸を目指しましょう！お待ちしております」。

メッセージ



藤沢エデンの園 園長
山田 敬一 (やまだ けいいち)

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
 今年は西年です。わたしも大いに羽ばたく活躍を！と誓うところですが、スタッフひとり一人も大活躍できるよう、今年もじっくりと教育と育成に力を注ぎたいと思つています。もちろんその目的は「ご入居者への、さらなるサービスの向上」です。運動プログラム導入もその一環。様々な取り組みが、どのような成果を上げているか、可視化できるような環境も整備したいと考えています。
 「藤沢エデンで生活することの幸せ」をご入居者が実感していただけるよう、今年も職員一丸となって運営に取り組んでまいります。
 ゆかり会の皆様、藤沢エデンの園をぜひ一度ご見学ください。

エデンの園から

藤沢エデンの園
ご入居者
共同イベントの紹介

毎年恒例秋の2つのイベントをご紹介します。

湘南大庭ふるさとまつり

10月24日に、地域では毎年恒例の「湘南大庭ふるさとまつり」が開催されました。今回も、焼きいも屋さんで参加出店しています。このイベントは、ご入居者・職員が一緒になり、3ヶ月前から打合せしながら、当日に必要な200キロの芋を800個に切り分けたり、新聞紙とアルミ箔で包む作業、子供たちへのプレゼント用として折り紙など準備をしました。販売もご入居者とともに行い、お芋も早々に完売するほど大盛況でした。



作品展

11/19~11/22は園内での「作品展」を開催しました。ご入居者には、絵画や書・手工芸などを出展していただくだけでなく、展示レイアウトのアドバイザーや作品への想いを語る会に協力していただき、期間中は受付をボランティアで担当していただきました。

(取材:入居者募集センター 中山明香)



藤沢エデンの園では、ご入居者と職員が企画立案から実施までを一緒にするイベントがいくつかあります。ご入居者からはたくさんの知恵と情報をいただくことができ、喜びもわかちあえる素敵な時間になっています。

お問い合わせ
空室状況については、
フリーコールでお問い合わせ下さい。
[月~金曜日 9:00~17:00 土・日・祝を除く]
0800-888-2238

募集対象
空室情報
1
平成29年1月15日現在
空入居可能

◆介護支援サービス

窓口【ケアプランセンター】

《ケアマネジャーの役割》

- ・状態の確認や希望サービスのお伺い
- ・ケアプラン作成
- ・サービス担当者会議



《藤沢エデンの園》
一番館
生活サービス課

連携

在宅介護保険サービスの提供

【訪問介護】 【訪問看護】 【デイサービス】



《藤沢エデンの園》
一番館
生活支援サービス*

+

介護付有料老人ホームの住み替え
《藤沢エデンの園》二番館

*生活支援サービスとは:体調不良等の際に自立した生活を継続するために園が提供するサービスです。

藤沢エデンの園では、日頃から、一番館と二番館、さらには訪問看護、ヘルパーステーション、ケアプランセンターのスタッフが、活発に情報交換を行っています。定期的に開催している検討会でも、介護保険を利用されているご入居者の健康状態やお悩み等の最新情報を共有しています。ご入居者お一人おひとりの生活に合わせた、きめ細やかなサービスのご提案とご提供に努めています。



介護予防に力を入れています!
デイサービスでは、多様なリハビリ機器の導入・機能訓練指導員による個別機能訓練を行っています。



地域の方にも支援を行っています。

きらめき
トピックス
「住宅型」でも
安心の秘密
をご紹介します。

高齢者複合施設「聖隷藤沢ウエルフェアタウン」
地域で貢献する介護保険の事業所たちは
一番館のご入居者にとっても頼もしい味方!



「聖隷藤沢ウエルフェアタウン」は、住宅型の「藤沢エデンの園」一番館と介護付の「藤沢エデンの園」二番館の他、特別養護老人ホーム「藤沢愛光園」と介護保険の事業所があり、地域の高齢者の生活を支えています。
ここでは、「藤沢エデンの園」一番館で介護が必要になった時に利用できるサービスをご紹介します。

連携1
聖隷ケアプランセンター藤沢
一番館で生活上の支援が必要になった場合、在宅介護保険サービスを利用いただけます。その最初の窓口となるのが「聖隷ケアプランセンター藤沢」です。現在のお部屋で、できるだけ自立した生活を送れるように、ケアマネジャーが最適なケアプランを作成します。

連携3
聖隷ヘルパーステーション藤沢
お部屋へ訪問介護員(ホームヘルパー)が訪問し、自立した日常生活を送れるよう掃除洗濯・入浴介助などのサポートをします。

連携2
聖隷デイサービスセンター藤沢
同じ建物内にあるので、天候に左右されずに、機能訓練、食事、入浴、レクリエーション等をご利用いただくことで、元気な生活を提供します。

連携4
聖隷訪問看護ステーション藤沢
お部屋へ看護職などが訪問し、主治医の指示や連携のもと、療養のお世話や治療の補助・医療処置などを行います。